

在メダン日本国総領事館 海外安全対策情報（令和3年7月～9月）

1 治安情勢

(1) 一般犯罪

ア 邦人の方が被害に遭われた事件
関連情報はありませんでした。

イ 状況

前期に引き続き、各種犯罪の中でも、強盗、窃盗（ひったくり、侵入盗）が頻発していました。

(2) 薬物犯罪

ア 邦人の方が関係する事件
関連情報はありませんでした。

イ 状況

前期に引き続き、覚せい剤や大麻の使用、所持、密輸による検挙が後を絶ちませんでした。

(3) テロ情勢

報道によると、8月のアフガニスタンにおけるタリバンの政権掌握が、インドネシア国内のテロ組織を勢いづかせるのではないかと懸念されています。当地においては、2019年のメダン市警察における自爆テロ事件以降、事件の発生はなく、現在、具体的な脅威情報にも接していませんが、引き続き、当地においてテロの標的とされている軍・警察関連施設及び宗教施設には、不必要に近寄らないようにするとともに、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努める必要があります。

(4) 交通事故

邦人の方が被害に遭われた事故に関する情報はありませんでした。

(5) 災害

北スマトラ州カロ県所在のシナブン山が、1月から9月末までの間、184回にわたり噴火しました。噴火の大部分は、小中規模のものです。噴火警戒レベルは3（地震・火山活動が活発化している状態）が維持されています。

2 対日感情

全般的に良好な状況に変化は見られませんでした。

3 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はありませんでした。